

作成日 2025/5/8
改定日 2025/10/7

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	FilmArray呼吸器パネル2.1-サンプルバッファー FilmArray消化管パネル-サンプルバッファー FilmArray 髄膜炎・脳炎パネル-サンプルバッファー BioFire 関節感染症パネル-サンプルバッファー BioFire肺炎パネル-サンプルバッファー BioFire 血液培養パネル2-サンプルバッファー
製品コード	423472 RFIT-ASY-0104 / RFIT-ASY-0116 RFIT-ASY-0118 / RFIT-ASY-0119 RFIT-ASY-0135 / RFIT-ASY-0138 RFIT-ASY-0144 / RFIT-ASY-0145 RFIT-ASY-0147 / RFIT-ASY-0148
供給者の会社名称	バイオメリュー・ジャパン株式会社
住所	東京都港区赤坂二丁目17番7号
電話番号	03-6834-2666
推奨用途	診断用 試薬
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家/化学物質専門家等の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性	急性毒性(経口) 区分4 皮膚腐食性/刺激性 区分2
環境有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1 水生環境有害性 短期(急性) 区分1 水生環境有害性 長期(慢性) 区分1 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H302 飲み込むと有害 H315 皮膚刺激 H318 重篤な眼の損傷 H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
注意書き	
安全対策	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)
応急措置	眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 (P305+P351+P338) 直ちに医師に連絡すること。(P310)

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。(P332+P313)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
グアニジン塩酸塩(1:1)	50-＜60%	不明	(1)-215, (2)-1773	既存	50-01-1
ポリエチレングリコール=t ert-オクチルフェニル= エーテル(別名: TritonX100)	10-＜20%	不明	(7)-172	既存	9002-93-1
物質(その他)	20-＜40%	不明	不明	不明	不明

4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
特別な処置が必要である。
直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
口をすすぐこと。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

使ってはならない消火剤

火災時の特有の危険有害性

特有の消火方法

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

粉末消火薬剤、泡消火薬剤

棒状水。

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法及び機材

二次災害の防止策

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

必要に応じた換気を確保する。

漏出物は回収すること。

漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

情報なし

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

安全取扱注意事項

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保護眼鏡、保護面を着用すること。

保管

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

安全な保管条件

『10. 安定性及び反応性』を参照。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
グアニジン塩酸塩(1:1)	未設定	未設定	未設定
ポリエチレングリコール=tert-オクチルフェニル=エーテル(別名: TritonX100)	未設定	未設定	未設定

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値/天井値
グアニジン塩酸塩(1:1)	未設定	未設定
ポリエチレングリコール=tert-オクチルフェニル=エーテル(別名: TritonX100)	未設定	未設定

設備対策

蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具

リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な呼吸用保護具を選択し、着用すること。

手の保護具

リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護手袋を選択し、着用すること。

ニトリル製保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具

リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な眼および顔面の保護具を選択し、着用すること。

皮膚及び身体の保護具

リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護衣、履物を選択し、着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

液体

形状

データなし

色

無色澄明～殆ど無色

臭い

データなし

融点/凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸点

データなし

範囲

可燃性

データなし

爆発下限界及び爆発上限 下限 界／可燃限界		データなし
	上限	データなし
引火点		データなし
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		データなし
動粘性率		データなし
溶解度		データなし
n-オクタノール／水分配 係数		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び／又は相対密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学的安定性		通常の取扱条件において安定である。
危険有害反応可能性		一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件		混触危険物質との接触。
混触危険物質		強酸化剤
危険有害な分解生成物		危険有害な分解生成物は知られていない。
11. 有害性情報		
急性毒性	経口	飲み込むと有害
皮膚腐食性／皮膚刺激性		皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性		重篤な眼の損傷
呼吸器感作性		データ不足のため分類できない。
皮膚感作性		データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性		データ不足のため分類できない。
発がん性		データ不足のため分類できない。
生殖毒性		(生殖毒性)
		データ不足のため分類できない。
		(生殖毒性・授乳影響)
		データ不足のため分類できない。
		データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回 ばく露)		
特定標的臓器毒性(反復 ばく露)		データ不足のため分類できない。
誤えん有害性		動粘性率が不明のため、分類できないとした。
12. 環境影響情報		
生態毒性	水生環境有害性 短 期(急性)	水生生物に非常に強い毒性
	水生環境有害性 長 期(慢性)	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
残留性・分解性		データなし
生体蓄積性		データなし
土壌中の移動性		データなし
オゾン層への有害性		データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物

汚染容器及び包装

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報
UN No.
Proper Shipping
Class
Packing Group
Marine Pollutant
Liquid Substance
Transported in Bulk
According to
MARPOL 73/78,
Annex II, the IBC
Code

IMOの規定に従う。
3082
環境有害物質（液体）
9
III
applicable
Not applicable

国内規制

航空規制情報
UN No.
Proper Shipping
Class
Packing Group
陸上規制
海上規制情報
国連番号
品名
クラス
容器等級
海洋汚染物質
MARPOL 73/78 附属
書II 及びIBC コードに
よるばら積み輸送さ
れる液体物質

ICAO/IATAの規定に従う。
3082
環境有害物質（液体）
9
III
非該当
船舶安全法の規定に従う。
3082
環境有害物質（液体）
9
III
該当
非該当

緊急時応急措置指針番号

航空法に従う。
3082
環境有害物質（液体）
9
III
171

15. 適用法令
労働安全衛生法
労働安全衛生法（令和8
年施行分）

非該当
名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条
第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30
条別表第2）

グアニジンの塩酸塩、硝酸塩及び炭酸塩

毒物及び劇物取締法
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

ポリ(オキシエチレン)＝パラ－(1, 1, 3, 3－テトラメチルブチル)フェニルエーテル(別名: TritonX100)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)

グアニジンの塩酸塩、硝酸塩及び炭酸塩(安衛則別表第2の番号:434)

ポリ(オキシエチレン)＝パラ－(1, 1, 3, 3－テトラメチルブチル)フェニルエーテル(安衛則別表第2の番号:1957)(別名:TritonX100)

※本製品は体外診断用医薬品のため、安衛法表示義務/通知義務の対象外とする

非該当

第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)

ポリ(オキシエチレン)＝アルキルフェニルエーテル(アルキル基の炭素数が8のものに限る。)(管理番号:408)(別名:TritonX100)(代表値20%)

16. その他の情報 連絡先

参考文献

医療分野の方/代理店:0120-265-034

上記以外の方/代理店:0120-022-328

bioMérieux SDS

bioMérieux Package Insert

NITE-CHIRP(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム)

JIS Z 7253 :2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

ezSDS

その他

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものです。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。

【改訂履歴】

化管法対応済(R5.04施行分)

安衛法対応済(R8.04施行分)

住所変更(2025.12)